

人にやさしく
地球にやさしい

大 日 新 聞

56号

大日化成株式会社

〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13

TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

通気緩衝工法



水分を逃がし防水層の
割れ・ふくれを防ぎます

BIGSUN

RX 工法

難燃性OAFフロア専用防水材料の必要性

OAFフロア用防水工法として、上市以来多数の実績を重ねてきた「ビッグサンACE工法」がございませうが、これに難燃性能を付与させてバージョンアップさせた「ビッグサンF工法」も開発され、現在はACE工法と共にOAFフロア用防水工法としてラインナップされております。

「ビッグサンF工法」は、ビッグサンコートSC119（液材）とビッグサンパウダーR119（粉材）から構成されたポリマーセメント系塗膜防水材です。

従来の屋外用・屋内用ビッグサンをベースに開発されており、基本物性や防水性能、作業性はそのままに、米国保険業者安全試験所によって策定された燃焼性能試験規格UL94HB（遅燃性）に適合した難燃性能を付加させた材料となっております。

そこで、今回はビッグサンF工法が採用された事例を紹介させていただきます。と思います。

施工物件は、千代田区霞が関にある日本最初の超高層ビルとして知られているビルです。13階に電気室があり、仮に火災が発生した場合、14階の電気室に漏水して稼働し下階の電気室に漏水してしまうと、ビル電気系統のトラブル

ルとなりかねない為、かねてより14階OAFフロアの床防水を行いたいという話は上がっていたようです。

テナントが入居されている事もあり中々実現に至らなかったのですが、今回14階のテナントが退去する事となり、そのタイミングで床スラブの防水工事が計画されました。

防水材料を選定するにあたり、OAFフロア用の防水工法としての基本性能（防水性、防塵性、帯電防止性、あと施工支持脚との接着性）に加え、他フロアにはテナントが入居したままでの改修工事であるため、工事中に臭いの発生が極力少なく、室内使用に制限のないF☆☆☆☆対応の水性材料であることが求められました。

ビッグサンF工法は、これらの要求性能を満たしつつ、火災発生時に防水塗膜の延焼予防に寄与する難燃性能を兼ね備えていた事が採用の決め手となりました。

OAFフロアの床防水は、屋上防水のように日々雨に晒される環境では無く、万が一の時の保険のような防水となり

ます。しかしOAFフロアという性質上、火災時の消火水に起因する漏水が発生した場合、階下の電気機能のストップ、電気系統トラブル、ワークスペースへの多大な損失を招きかねません。

近年オフィスビルの高層化とITインフラ需要により、OAFフロアはどんどん増えており、リスク回避の観点から今後ますますOAFフロアの防水に対する重要度が増してくるものと思えます。

今回ご紹介させていただいた採用例のように、既存の建物の改修工事には勿論のこと、新築工事においても環境対応かつ難燃性という付加価値を備えた新しいポリマーセメント系塗膜防水「ビッグサンF工法」は、OAFフロア床の防水機能を縁の下で支えながらお客様ニーズにお応えしていきたくと考えます。

難燃性につきましては弊社WEBサイト「動画で見る大日製品」で実際にどの程度燃えにくいかを公開しておりますので、採用御検討の参考にしていただければ幸いです。

まり、水系の安全な材料で、なおかつ水質にも適合する工法が求められました。

2つ目は、飼育されている魚の飼育環境をなるべく変えないように防水塗膜の仕上色について、現状に近い色味に調色する必要がある事。

「ビッグサンGRJ工法」で使用する材料は、プライマーの「ビッグサンPTC」、防水層を構成する「ビッグサンコートSC300」、ビッグサンパウダーR300、表面のエポキシプライニング材「スカイレジンAQ12500」まで、すべて水系または無機系の材料であるため、1つ目の問題はクリアできたのですが、2つ目の調色については、調色の際に添加する顔料等が水質に影響を与える可能性があるため、当社技術部と施主様、設計監理者様、施工業者様とで打合せを行い、水質に影響を与えない顔料・添加剤を使用する事

水産技術センターの水槽改修工事に ビッグサンGR-J工法を採用頂きました！



いつも受水槽等の飲料用水槽の内面防水工法として、全国の様々な現場にて採用頂いております「ビッグサンGR-J工法」ですが、今回、某水産技術センターの魚類飼育水槽の改修工事で採用頂き、先日無事に工事完了しましたので紹介させていただきます。

この水産技術センターでは、近海の豊かな水産資源を守

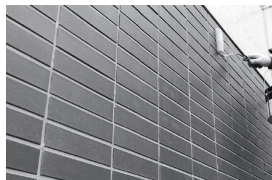
るための調査・研究等、様々な活動が行われています。今回、防水改修を行うことになった生産・飼育棟の各水槽では様々な種類の魚が卵の状態から飼育されており、ある程度大きさに成長すると海に放流されています。

元々、水槽の新設時にはFRP防水が施工されていたのですが、経年による躯体コンクリートの劣化も進んでおり、下地コンクリートの断面修復工事と併せて、水槽の防水改修工事を行うことになりました。施設内のすべての飼育水槽の稼働を止め、複数ある水槽の半分を今期の予算で改修する事になったのですが、大きな問題が2つありまし

スカイコートW

＜タイル張り面の透明外壁防水材＞

スカイコートWは、透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした1液型外壁用透明防水材です。透明な塗膜を為、タイル仕上の意匠性をそのままに雨水の侵入を防ぐことができます。



透明な塗膜でタイル仕上の
意匠性はそのまま!!

主な特長

1. オール水系
2. 超高性能被膜
3. 優れた施工性
4. 防カビ・防藻機能



詳しくは
YouTube
大日化成
チャンネルで



大日化成チャンネル

こんなところで活躍しています

医療施設屋上（VUS500）



で、なんとか現状の色調の近似色まで調整することが出来ました。

工事自体は、躯体コンクリートの劣化が想定以上に進んでおり、断面修復等の下地処理に少し手間取ったものの、「ビッグサンGR-J工法」の施工は特に問題もなくスムーズに終了し、来年以降に残り半分の飼育水槽についても防水改修を計画しているとの事です。